

## 無症候性血尿は猪苓湯を長期に

**Q** 十六歳の息子が高校入学の健康診断で、尿の潜血反応が陽性といわれました。再検査で無症候性血尿と診断されました。今は治療の必要はない

が、IgA腎臓病(じん)症の疑いがあるので定期的な検査と腎臓の組織検査(腎生検)を受けた方がよい、といわれました。腎生検は必要ですか。また漢方治療はありますか。

**A** 質問者が同封した検査所見によると、血清IgA値が正常で、腎機能を示す数値はすべて正常、尿たんぱくも陰性である。尿の種々の所見などからIgA腎症の可能性は少ないと思われる。遊走腎も否定されており、腎生検については現時点ではあまり必要性を認めない。ただ、不変もしくは自然軽快する場合と慢性腎炎の一種と

なる場合があるから、定期的チェックは必要である。

無症候性血尿には猪苓湯(ちよれいとう)が最もよく用いられる。顕微鏡的血尿ではなくはつきりと血尿や赤褐色の尿になる場合は四物湯(しもつとう)を併用するとよい。現代医学的には無症状であっても、質問者の記載のように「なんとなくだるい」「長時間立っていると腰が重くなる」といった症状がある場合は処方選択の参考になる。

この場合は漢方では「気虚」(ききよ)「エネルギー不足」や「水毒」(すいどく)「水バランスの乱れ」と考え、補中益気湯(ほちゅうえつきとう)と猪苓湯の併用や補気健中湯(ほきけんちゅうとう)などが考慮される。